

## プロジェクトゼミⅠ ループリック

領域	資質・能力	評価対象	S		A		B		C
			目標達成時期:学年末		目標達成時期:2学期末		目標達成時期:1学期末		
			基準	徴候	基準	徴候	基準	徴候	
かかわる力	主体的に取り組む力	グループワーク 取り組み方	テーマについて関心を持って課題に取り組み、グループで積極的に問題点を見出し、社会や地域のために解決策を提案することができる	・全てのグループワークにおいて積極的に参加し、他者の意見を注意深く聞き、自分の意見をコメントしている ・グループワークの中でメンバーの意見や考えが尊重され、その情報を共有している ・話し合いの過程で、理由(主張の根拠)が求められ、理由が説明されている	テーマについて関心を持って課題に取り組み、グループで問題点を見出し、解決策を提案することができる	・全てのグループワークにおいて参加し、他者の意見を注意深く聞いている ・グループワークの中でメンバーの意見や考えが尊重され、その情報を共有している ・メンバーの考えを汲んだうえでグループの解決案が決定された	テーマについて、グループで問題点を見出し、解決策を提案することができる	・グループワークに参加している ・グループ内で話し合った情報を共有している ・グループワークにより解決案が決定された	Bを満たしていない
	グループの中で協働する力	グループワーク 取り組み方							
学ぶ力	情報を集め選択し利用する力	チームファイル 提出物 各発表	収集・整理した情報をグループで比較・分類・整理し、課題に対する解決策のアイデアを多面的に出すことができる	・各種資料やメモなど学習過程の産物が時系列に沿って、ファイリングされている ・調査目的を事前に明確化した上でメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を十分に理解した上で、調査を進めた形跡がみられる ・各種書類に積極的に必要項目が記入され、活用しやすいよう整理されている	収集・整理した情報をグループで協議し、課題に対する解決策のアイデアを出すことができる	・各種資料やメモなど学習過程の産物が時系列に沿って、ファイリングされている ・調査目的を意識してメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を理解した上で、調査を進めた形跡がみられる ・各種書類に積極的に必要項目が記入されている	収集・整理した情報をもとに、課題に対する解決策のアイデアを出すことができる	・各種資料やメモなど学習過程の産物がファイリングされている ・調査内容に応じてメディアを使い分けるなど、ファイリングした内容物から、各種メディアの特徴を意識した形跡がみられる ・各種書類に必要事項が記入されている	Bを満たしていない
	課題に対して解決していく力	グループワーク 取り組み方		グループで協力しながら目標に照らし合わせた適切な解決策を提示、議論している		グループで目標に照らし合わせた適切な解決策を提示、議論している		グループで目標に照らし合わせた解決策を提示している	
	アイデアを形にする力	企画書 試作品 完成品		仕様が示された企画書をもとに、設定した課題を解決するための作品や模型を作ることができる		仕様が示された企画書をもとに、作品や模型を作ることができる		仕様が示された企画書を作成することができる	
伝える力	個人やグループの考えを他人に伝える力	企画書 ポスター発表 各発表	チーム内で積極的に議論をし、内容を十分に掘り下げたり、関連する事柄について意欲的に考えることができる	・追究に値するテーマ、解決案が具体的に記載されている ・設定したテーマが、解決案につながっている ・企画した解決案が既存のものではない斬新なものである ・取組に関わる諸費用が具体的に書かれており、実現可能なものかがしっかりと考えられている	チームで議論し、内容を掘り下げたり、関連する事柄について考えることができる	・追究に値するテーマ、解決案が具体的に記載されている ・設定したテーマが、解決案につながっている ・取組に関わる諸費用が具体的に書かれている	チームの中で意見を出し合い議論することができる	・グループのテーマ、解決案が記載されている ・必要項目すべてが記載されている	Bを満たしていない
	グループワークを円滑に進める力	グループワーク							
見つめる力	取組を振り返り改善していく力	プロゼミノート 自己評価シート	ワークシートや発表資料等を用いて自らやグループの取組を意欲的に評価し、改善点を見出すことができる	・基本的な文章作成のルールが十分に守られている ・指示された全ての事項について自身の言葉で論述されている ・自己評価シートの7割以上の論述があり、誤字、脱字がない	ワークシートや発表資料等を用いて自らやグループの取組を評価し、改善点を見出すことができる	・基本的な文章作成のルールが守られている ・指示された事項について自身の言葉で論述されている ・自己評価シートの5～6割程度の論述があり、誤字、脱字がほとんどない	ワークシート等を用いて自らの取組を評価することができる	・基本的な文章作成のルールが意識されている ・指示された事項について記載されている ・自己評価シートの4～5割程度の記載がある	Bを満たしていない